

それゆけ! ほむらくんの 実践防火講座!

第14回 屋内消火栓設備

文:よしむら りょうた 絵:おぎの じゅんこ

今回は、火災発生時に施設関係者が消火のために使用することができる「屋内消火栓設備」について説明します。



施設の関係者が、消防隊のようにホースを使って放水して消火する設備として、「**屋内消火栓設備**」があるぞ。
自動で消火するものではないが、燃えている物を狙って消火できるんだ。



広範囲型2号消火栓

1号消火栓

易操作性1号消火栓

消火器とかスプリンクラー設備以外にも火災の時に使うものってあるの？



屋内消火栓設備にはいくつか種類があって、二人で操作する「**2号消火栓**」、一人でも操作ができる「**易操作性1号消火栓**」「**2号消火栓**」「**広範囲型1号消火栓**」があるんだ。

易操作性1号消火栓
(1人でも操作ができる)



どんな設備なの？



1号消火栓
(2人で操作する)



使い方とか注意する点はあるの？



ポンプ起動ボタンを押す



ホースを伸ばす



バルブを開く



使い方は一号消火栓の場合、

- ①消火ポンプの起動ボタンを押す
 - ②ボックスからホースを出して伸ばす
 - ③バルブを開いて放水する
- という手順なんだ。

二号消火栓などの一人で操作する消火栓は、バルブを開くと同時にポンプが起動するから起動ボタンはないぞ。

また、事前にホースを伸ばす必要もなく、ノズルの操作で水を出したり止めたりすることもできるぞ。

なお、一号消火栓では、ポンプの起動ボタンを押さないと水が出ないので、注意が必要だ。いろいろな種類があるが、使い方は屋内消火栓ボックスの中に書いてある場合が多いので、まずは自分の施設にある消火栓を調べてみよう。



操作方法



操作方法詳細



過去の実践防火講座



今までいろいろな消防用設備等の使い方や、防火に関することなどを勉強してきたが、実際に火災が起きたら、知識だけでは対応は難しいだろう。

まずは定期的の実施される訓練で、実際に設備に触れたり、操作方法を復習して、火災が起きた時には被害を最小限に食い止めてほしい。

ほむらくんの チェックポイント!!



【関係法令】

- ・消防法施行令第11条
- ・消防法施行規則第11条の2～第12条
- ・神戸市火災予防条例第37条

【設置が必要な防火対象物等】

- 延べ面積500平方メートル以上
劇場・映画館集会場等
- 延べ面積700平方メートル以上
飲食店・物販店・共同住宅・学校・工場・倉庫等
- 延べ面積1000平方メートル以上
神社、事務所等

※建物の構造や内装制限により変わります。

【主な基準】

- *ホース接続口までの水平距離
 - 一号消火栓等 25メートル
 - 二号消火栓 15メートル
- *放水性能
 - 一号消火栓等 0・17メガパスカル以上
 - 二号消火栓 0・25メガパスカル以上
- *放水量
 - 一号消火栓 130リットル/分以上
 - 二号消火栓 60リットル/分以上
 - 広範囲型二号 80リットル/分以上
- *放水可能時間 約20分以上

【その他】

放水後はポンプを手動で停止させる必要があります。